

平成19年12月28日

会 員 各 位

美しい多摩川フォーラム事務局

第1回地域経済活性化部会議事録

11月21日(水) 美しい多摩川フォーラムの第1回地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

次回の地域経済活性化部会では、今回の議論を踏まえ、具体的なアイデアやデータを持ち寄り、20年度の事業計画案の検討を行うこととなっており、平成20年2月に開催を予定しています。(日程が決まり次第ご連絡致します)

【開催日時】 平成19年11月21日(水) 16時~18時

【開催場所】 羽村市生涯学習センター ゆとろぎ 2F・講座室2

【出席状況】 一般会員のほか、行政会員、市議会議員、一般参加者 合計26名

部会の概要

1. 細野・地域経済活性化部会長(中央大学大学院教授)からご挨拶がありました。
事務局から経過報告がありました。
2. 報告内容
フォーラム設立総会の開催状況について(資料1)
フォーラム設立総会後の臨時運営委員会について(資料2)
フォーラム設立以降の活動状況について(資料3、資料4)
フォーラムの会員状況について(資料5)
第1回運営委員会(平成19年度事業計画の追加・変更等)について(資料6)
美しい多摩川フォーラムの当面の計画(平成19年~20年度)
(資料7)
美しい多摩川フォーラムのホームページのトップ画面(資料8)
3. 協議内容
 - (1) 地域経済活性化部会に期待することについて
 - (2) 美しい多摩川100年プラン&20年度事業計画に対するヒアリング
(資料7)
 - (3) 今後の広報に向けて(資料8)
 - (4) 美しい多摩川100年プランに関するワークショップの立ち上げ等について

(5) その他

1. 部会長挨拶

(細野部会長) 皆さん、こんにちは。地域経済活性化部会の初会合です。美しい多摩川フォーラムは3つの部会で成り立っています。敢えて言いますが、地域経済活性化部会はとりわけ大切な部会です。地域経済活性化がうまくいけば、「美しい多摩川100年プラン」が、東京あるいは日本の大きな歴史の1歩をつくるような動きになるのではないかと、また、後世に非常に良い財産を残せるのではないかと、思っております。そんなことから部会長をお引き受けしました。私は中央大学で地域経済や都市経済を教え、社団法人・学術・文化・産業ネットワーク多摩という団体で、41大学、10自治体、32企業及びNPOにご参加を頂き、「多摩地域を元気にしよう！」と働きかけております。ネットワーク多摩は東から西へ横の連携を、一方、美しい多摩川フォーラムは北から南へ縦の連携ですので、丁度良いシナジー効果が出るのではないかと期待しております。それぞれ連携しながら、多摩地域の活性化、特に「環境」が最も大切なキャッチフレーズですので、多摩川を1つのシンボルにして、一緒に元気づけていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願い致します。

2. 経過報告

(宮坂事務局長) 当フォーラムの設立総会以降の活動状況等については、(資料1)から(資料5)にまとめたとおりです。平成19年度の事業計画をまとめるに当たっては、多摩川流域をいかに活性化し、地域づくりにつなげていくかという観点から、設立総会のメンバーに働きかけて決めて参りました。その際、経済、環境、教育文化の3つの軸でイメージが出来るように具体案をまとめております。その中で、地域経済活性化部会は、多摩川を源流・上流から中流、下流域までの広域連携を図りながら、地域経済の活性化を目指す部会です。中でも観光の一翼を担うシンボルプラン候補の計画として、「多摩川夢の桜街道プラン」と名付け、ご提案して参りました。当フォーラムの設立総会では、民間の運営委員の方だけでなく、流域の自治体の委員の方からも賛同を得ることが出来ました。その後、東京都の多摩川流域の自治体から「美しい多摩川100年プラン」についてご理解を賜り、ご支援を頂く話が持ち上がりました。そして、行政との広域連携・協働を巡り、いろいろ議論した結果、11月の運営委員会で承認を得ることが出来ました。本来のフォーラムの在り方とすれば、部会から意見をどんどん出してもらい、討議を重ね、案件として提出することを想定していたのですが、今回は流域の自治体からご支援のお話があり、事務局の方で慎重に検討し、最終的に運営委員会に諮って承認されましたことをご報告致します。当フォーラムでは、7月21日の設立総会の第3号

議案「平成19年度事業計画」において、来年3月に向けて「美しい多摩川100年プラン」の策定を既に決定しておりましたが、このたびの多摩川流域の自治体からのご支援に伴い、今後新設される「多摩川流域都市協議会」から以下の3つの事業案件を当フォーラムが受託することとなり、平成19年度事業計画は追加・変更となります。これらは、フォーラムの運動の3本柱に沿ったものを選んでおり、特に、広域連携が期待出来るものを優先的に選んでおります。

1番目の柱は経済で、具体的には「多摩川夢の桜街道プラン」に関する調査・研究事業です。今後、当フォーラムが100年続けていくためには、シンボルプランが必要であり、その候補として考えております。基本コンセプトの策定、桜の実態調査、19年度は多摩川流域だけですが、20年度以降は2次調査、3次調査と調査域を広げ、最終的には東京都の西半分の実態調査を済ませたいと考えております。このプランを進めるに当たり、このほど、調査会社による「多摩川に対する意識調査」を始めたところです。このような活動を進めていく中で、行政と民間（個人、NPO、企業等）の役割分担を整理し、いかに連携・協働していくかについて、議論していきたいと考えております。夢の桜街道プランでは、ホームページを利用した観光戦略まで考えています。

2番目の柱が環境で、多摩川の水環境の保全に向けた調査研究事業として、「多摩川一斉水質調査プランの準備段階の調査事業」を実施します。その方面の第一人者である東京農工大学名誉教授の小倉紀雄先生（当フォーラム顧問）よりご指導を頂きます。全国6,500ヵ所の水質調査をご指導されている方で、特に、多摩川の中・下流や浅川などの水質調査を推進されてこられました。従来、多摩川の上流域の水質調査は手薄だったとのことであり、今回、美しい多摩川フォーラムがその上流域の調査を厚くして、来年6月8日には、多摩川の上・中・下流域で一斉調査をしようと考えております。現在、多摩川は大雨や台風の影響で白濁しております。詳しい状況につきましては、今月29日に開催の「環境清流・教育文化合同部会」に小倉先生がご出席されますので、そちらにお任せしますが、来年6月の多摩川一斉水質調査プランの実施については、誠に時宜を得たものと思っております。

3番目の柱が教育文化で、具体的には、「多摩川流域の水辺の楽校等」の一斉連携活動に関する事前調査を行います。これは今後、教育文化の大きな柱になるものと考えております。多摩川流域では、「水辺の楽校」と呼ばれる団体が国土交通省等の支援を受けて活動していますが、多摩川上流域はまだ手薄なので、フォーラムがサポートして、全体として緩やかな一斉連携を行い、水辺の活動を盛り上げていければと考えております。水辺の体験学習をサポートし、まだ決定はしておりませんが、年に1回「子供シンポジウム」というような形で、子供たちの水辺の体験学習の発表の場を提供していきたいと考えております。

これら3つの事業につきまして、19年度は500万円のご支援を東京都市長会から頂けることが先般承認されました。今後、流域の自治体が組織する「多摩川流域都市協

議会」と美しい多摩川フォーラムが連携・協働して、100年プランを進めていくことになります。当フォーラムが設立されてわずか4ヵ月ですが、もう行政から注目され、ご支援を頂けるところとなりました。当フォーラムとしても少し自信を持って、これを進めて行きたいと考えております。また、100年プランは進化、発展するものとして、皆様のご意見を伺って、毎年見直しながら進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。経過報告は以上です。

3. 協議内容

(1) 地域経済活性化部会に期待することについて

(細野部会長)事務局から19年度の3つの事業計画の説明がありましたが、とりわけ1番目の計画が大切です。地域経済活性化部会として、「今後、どのようなことをしなければならぬのか」、自己紹介がてら、皆様のご意見を頂きたいと思っております。さらに、20年度はどうするかという話にも触れて頂ければ有り難いです。

(青梅市議会議員)東青梅から青梅の上町までの商店街の中で地域活動をしております。9月のフォーラム主催のシンポジウムにも行きましたが、事前の勉強不足で、地域づくりの良いアイデアは浮かびませんでした。今日は、青梅の商店街として、美しい多摩川フォーラムと上手く連携できるかを勉強させて頂きたいと思っています。

(玉川上水遊歩道を考える会)かつては玉川上水が全都民の飲み水を賄う時期がありました。しかしながら、東京オリンピック以降、建設ラッシュで都市が変化し、杉並区以東の殆どが閉鎖されてしまいました。羽村の取水堰から杉並の浅間橋まで、約30キロの遊歩道があります。この30キロの歩道の両側または片側に沿って緑道や「玉川上水遊歩道」と称する小道がありますが、残念ながら、福生市の一部(2.1キロ)が欠けております。そこで、私たちは連続性のある遊歩道を作りたいということで運動をしております。フォーラムとも連携出来ればと考えています。

(青梅市民)観光ガイドや登山ガイドなどで現場に出て、青梅～奥多摩を中心に活動しています。以前、大多摩観光連盟のガイドもしておりました。吉野梅郷には桜の巨木がありますが、名前もついておりません。そのような桜を掘り起こしていくのも面白いかと思っております。

(日の出町民)フォーラム入会を検討しております。魚を獲ったり、自分で川に入って泳いだり、川にはそういうイメージが心に強く残っています。私自身は里山で活動していますが、里山には水は欠かせないので、川と里山は切っても切れない縁があります。そうした視点からもフォーラムの活動を見ていきたいと思っております。生物が生きていくためには水質も大切です。大腸菌の関係で多摩川は遊泳禁止と聞いていますが、川で泳げる水質を一つのバロメーターとする見方もあるかと思っております。フォーラムの3本柱であ

る経済、環境、教育も、切っても切れない仲にあると思います。また、総合性のあるフォーラムの活動が「100年プラン」とされておりますが、自分の寿命を超えた発想でなかなかいいと思います。

(昭島市民)西の風という新聞を読んで、美しい多摩川フォーラムの存在を知りました。福生の蛍祭りで、昨年は36,000人が来場し、蛍の警備まで手が回らなかったために、蛍が盗まれたと聞きました。多摩川には幾つかの蛍の生息地があり、近年、その蛍が盗まれて困っているとのこと。蛍を守るために、フォーラムの腕章を付けて、蛍泥棒の警備を行う必要があると考えています。美しい多摩川フォーラムでもこの問題を取り上げ、考えてほしいと思っています。

(世田谷区民)サイクリングが趣味です。多摩川を自転車で走っていてよく思うのですが、多摩川ではサイクリングが出来るところがかなり限定されているということです。奥多摩までの多摩川のサイクリング・ロードがあればと思っています。美しい多摩川フォーラムの記事が新聞に載っていましたが、実際にどんな動きをするのかなと思って参加しました。また、何か私でも出来ることがあればと思っています。

(あきる野市環境経済部)本日は皆様の生のメッセージを伺いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(LLP小菅きらり)私たちの理念は、「多摩川から世界の海へ」ということで、食品だけから作った私たちの環境浄化剤を排水溝に流すことにより、川を綺麗にしていこうとするものです。小菅村は人口6,000人くらいの過疎の村で、そこで仕事をしていくには難しいような感じです。本日は、環境の視点から源流地域を活性化させる何かヒントを頂ければとの思いで参加しました。小菅村から環境を発信していきたいと思っています。

(特定非営利活動法人・緑の大地会)バイオマス資源の有効活用などにより、東京の緑を守ると共に、安心・安全な農作物を作るために、土壌修復面で農家をサポートし、地産地消活動を通じて、フォーラムと連携出来ればと考えています。

(青梅・多摩川水辺のフォーラム)私どもの水辺のフォーラムでは、水辺の楽校を目指しながら、近くの河辺や釜の淵周辺で、環境と子供への野外教育活動を行っております。

(京王電鉄(株)広報部)私どもでは、近隣の会社にも呼び掛けて、春は高尾山、秋は多摩川の清掃を行っております。つい先日(11月17日)も、社員含む776名で多摩川の清掃活動を行いました。

(青梅市民)多摩川は非常に貴重な財産だと思うので、青梅・多摩川水辺のフォーラムの会員になりました。これからは環境が課題だと思います。

(衆議院議員秘書)議員の代理で参加致しました。皆さんの意見をじっくり伺いたいと思います。

(羽村市産業活性化推進室)羽村も桜の名所ですが、それぞれの地域で桜の名所作りが出来たら良いと思います。

(株)キャリア・ママ)「地域の方が参加しやすい多摩川を利用した四季のイベント」があると盛り上がると思います。例えば、多摩圏民として、春は夢の桜街道、夏はフェスティバル、秋は芋煮会や焼き芋会等を商店街と協力しながら行い、冬は多摩川土手沿いにイルミネーションを設置する等、多摩川を盛り上げていければと考えております。

(青梅市議会議員) マニフェストにもありますが、多摩川の遊歩道(友田～御岳沿い)を作りたいと考えております。個人、議員どちらの立場からも、微力ですが力になっていきたいと考えております。

(中央大学OB会・東京大田区支部) 日経新聞(5月2日付)に、美しい多摩川フォーラムの記事が掲載されていたのを拝見し、フォーラムに参加しました。大きな話で恐縮ですが、当部会に参加するに当たり、私どもの支部で事前に議論した結果、「多摩川レガッタ」をご提案します。大田区から川崎にかけて、高校や大学と連携し、多摩川の下流域を利用したレガッタ(ボート競技)を行いたいです。大田区～川崎、丸子橋～多摩川大橋(第二京浜)まで、川幅があるのでレガッタが出来ると思います。春と夏は荒川や墨田川でやっているの、多摩川は穴場の秋にやってはいかがか。荒川(戸田公園)は、オリンピックコースであるが直線距離で面白くないですし、墨田川は両側がコンクリートで固められていて面白くありません。これに対して、多摩川はサイクリングコースなどがあって周りも綺麗ですし、盛り上がるんじゃないかと思います。そして、これにより多摩川ブランドを作ってはどうか。多摩川の名産品などをレガッタを催した際に販売すれば、地域経済の活性化につながると思います。

(大田区まちづくり推進部) 大田区の地域経済活性化は重要課題です。特に広域連携、自治体同士の連携も大事ですし、地域の方と連携することは重要だと思います。職種が土木なので、地域経済とはやや畑が違うかなとも思いますが、フォーラムを通じて勉強させて頂きたいと思います。

(奥多摩総合開発株) 上流部の奥多摩に来られる観光客が年々減少しております。美しい多摩川フォーラムの中で、多摩川や奥多摩を取り上げてもらい、地域の活性化に向けて何かお手伝い出来ればと期待しています。

(八王子市産業振興部) 八王子市は人口50万人を超える大都市ですが、多摩川の支流浅川の殆どを占めております。多摩川や秋川にも面しております、直接の流域人でもあります。市民協働は、八王子市で最も推進している事業であり、また、多摩地域は市民活動が活発なところなので、このフォーラムを中心に広報力を発揮して、緩やかな市民協働を進めていきたいと思っています。春には桜マップを作成し、秋には紅葉のマップを作るなど、同じエリアを対象に、切り口を変えて通年で多摩川の観光名所を作りたいと思います。この他、多摩川沿道に往復で桜並木の遊歩道等を作るのも良いかと思っています。

(くにたち桜守) 地域では多くの子供たちが桜を守り育てる活動に携わっています。多摩川の自然観察の活動も行っております。微力ではありますが、お役に立てればと思

ます。

(森林総合研究所)「多摩川夢の桜街道」の事前調査の件で、現在、行政会員の皆様
に「サクラの植栽アンケート調査」でご協力を頂きながら、多摩の桜の実態調査を実施
しております。今後ともご協力をよろしく申し上げます。

(青梅市都市開発部)今回、フォーラムを担当させて頂くことになり、参加して
おります。青梅市には梅の資料はたくさんあるのですが、桜の資料があまりないのが
現状です。多摩川については、上流から下流までそれぞれの流域が抱えている課題
や問題が違っていると、いろいろ勉強させて頂きたいと思っております。

(2) 美しい多摩川100年プラン&20年度事業計画に対するヒアリング(資料7)

腕章、ワッペンなど、一目でフォーラムの活動をしていることが分かるものがほ
しい。

運営委員会で会員証等の作成を求める意見があったが、反対の意見もあった。
夢の桜街道について、桜だけでは単調であり個性がないと思う。青梅なら梅でも
いいし、奥多摩ならもみじでもいい。多摩川を美しく演出するなら、桜だけでな
くてもいいのではないか。

事務局でも検討しているが、色々な素材を一度に取り上げてしまうと、広報の
観点からみて、かえってごちゃごちゃになってしまう。その点、「桜」は日本人の
大方の支持が得られるものと考えている。桜街道のコンセプトには、地域ごとの
特色もあるので、その「点」をつないで「線」にして統一感を出し、多摩川の
ブランドを創り出すことが重要である。また、桜の札所巡りなど観光ルート(散
策ルート)の設定も考えている。その次のステップで、季節ごとの花の観光ル
ートの設定や花の実態調査を実施していきたいと考えている。

八王子では桜マップを作ったが、同じエリアに甲州街道のイチョウ並木や歴
史的なものが多いので、秋の紅葉についての情報マップも作った。このよう
に、同じエリアを違う切り口でマップ化したらどうか。まず、桜から始める
というのは良いことだと思う。

桜の現状調査の中で、「桜」と近くの名所・旧跡を書き加えるなど、広がり
を持たせ、観光効果を高めたいという考えもある。

(3) 今後の広報に向けて(資料8)

(宮坂事務局長)当フォーラムでは、手作りのホームページがあるが、今後は
どのように広報を拡充していくが課題になっている。会員の集め方の一環
として、11月の運営委員会において、ホームページの拡充について議論が
持ち上がり、当フォーラムを広報

していくうえで、ホームページ戦略がいかに重要であるかということで意見の一致をみたところである。一方、口コミで入会して頂いた会員も多いため、ご出席の皆様には、個人会員の募集を積極的にPRして頂き、ヒューマン・ネットワークの面からも会員数を増やしていきたいと考えている。

(細野部会長) 広報は非常に大切です。人が集まれば大きな効果になるので、皆様、是非フォーラムにお誘い下さい。

ホームページにリンクしても良いのか。

リンク基準が決まっていないので、準備が整った段階でご連絡する予定。

話題性が重要だと思う。一般に読まれている新聞と提携し、活動をアピールし、無料で取り上げてもらうくらいにする必要がある。

朝日新聞(9月5日付)で「多摩川夢の桜街道」の件が掲載された際、多摩地区よりも23区の区民のほうが反応が良かった。多摩川に限定せず、多摩圏で考えているので、反応に拡がりが出たのかもしれない。

(4) 美しい多摩川100年プランに関するワークショップの立ち上げ等について

事務局より

- ・ワークショップの立ち上げについて説明。
- ・環境清流部会と教育文化部会の活動(多摩川の森環境教育)について説明。

森の環境教育は下流の大田区でもやりたい。

全体にお声かけはしており、ニーズがあれば具体的に検討する。

多摩川の河口の片側は神奈川県であり、源流の小菅・丹波山は山梨県であるので、東京都に限定することなく、100年の運動に巻き込むようにしてほしい。

(5) その他

年に1回、多摩川のオリジナルなお祭りを開催してはいかがか。

多摩川の花火大会を開催したい。

来年の春には多摩川流域の花見客を対象に「100年プラン」をPRし、意見を聞いてはいかがか。

ロータリークラブやライオンズクラブ等に声をかけたらいかがか。企業の代表者もいるし、活動が広がると思う。

今後、CSRに関心のある大きな企業に声をかけることも考えている。社員にフォーラムの情報を伝え、関心を持ってもらうよう仕向けたいと考えている。

水と遊歩道で地域を活性化したい。この問題をアピールするペーパーを作成し、次

回の部会に向けて準備したい。

水辺の博覧会的なものとして、子供がなじみ、体験する場所がほしい。例えば、常設の水族館をつくり、いつでも多摩川の生き物を見ることが出来るような環境にしたい。また、常設の水族館に併設する形で、直ぐに泳げる場所がほしい。

フォーラムのシンボルマークを作成し、シールにして企業に貼ってもらい、PRしてほしい。

シンボルマークはビジュアル的にも良いので、会員の募集の際には、関心を持ってもらえるのではないか。

シンボルがあるほうがPRしやすいし、愛着を持つと思うので、シンボルは作りたい。

キャラクター的なものを作りたい。例えば、たまちゃんなどは、地域のブランド力になると思う。また、「100年プラン」のキャラクターを作れば、キャラクターのブランド力が出ると思う。さらに、キャラクター・ライセンスを作り、商店街などで使って頂いてはいかがか。

統一キャラクターのほかに、地域ごとのキャラクターがほしい。キャラクターを公募し、それ自体をニュースにする手もある。

9月のシンポジウムの時に話があった「多摩川の歌」を公募してはどうか。

(細野部会長) 次回は2月ですが、本日頂いた意見を整理すると共に、我々の活動が急速に進展し、大きな力になることを期待しています。また、ネットワーク多摩とのコラボレーションを行い、地域の結び付きを強め、地域の活性化に貢献していきたいと考えております。お忙しい中、本日はどうも有り難うございました。

以 上